

## ■ ふれあい倉庫イベント情報

【カルチャーホール】

### 華乃家ケイ&風絃流しコンサート

▼日時 8月9日(土) 開演18時30分

▼入場料 大人2,000円(当日2,500円)

小学生500円 幼児 無料

▼主催 とうべつ生聞音楽クラブ

▼問合せ 森田 (☎090-6099-7716)

### さんびかコンサート♪ ～心に愛を～

▼日時 8月24日(日) 開演14時30分

▼入場料 無料

▼主催・問合せ

聖イエス会 当別全き愛教会 (☎23-3788)

## ■ パン工房の使用について

ふれあい倉庫には、スウェーデン・レクサンド市との友好の証として設置されたレクサンド式パン焼き窯があります。

このパン窯で焼いたスウェーデンパンの販売を行う場合は食品衛生法に基づく手続きが必要となります。

スウェーデンパンを利用した活動を考えている方、または団体は、保健所で「菓子製造業」の申請をしてください。

詳しくは、役場商工課またはふれあい倉庫にお問い合わせください。

## ★旬野菜のふれあい朝市を開催★

◆日時 8月10日(土) 9時～11時

◆地場産品コーナー とれたて野菜が勢揃い。

・当別自慢の加工品が登場

◆多目的ホール 海の幸も取り揃えます。

売り切れ御免。お早めにご来場を！！！！

くわしくは新聞チラシをご覧ください。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎27-6600)

商工課 (☎23-3129)



続

## 町長の日記

平成20年7月19日(土)

7月16日から役場・農協・改良区など8人で、直売所で農業大賞を受賞した愛媛県内子町へ勉強に行ってきた。もし、当別町で生産調整せず全ての水田に米を作っていたら、札幌市民の3分の1くらいの人口の1年分のお米が生産出来るはずだが、当別町では転作で小麦を沢山作っているの、札幌市民のめん類やパン食の1年の消費量の4分の1相当を生産している勘定になる。

にもかかわらず、米麦の価格が年々下がって当別町の農業産出額は下る一方だ。

今、この町は、平均すると基幹産業の農家の方がサラリーマンより納めている所得税が少ない。

私は19の時から農業に憧れて、農協や土地改良区の役員をしながら、妻の助けを得て農村で暮らして来たが、豊かで美しい農村を夢見て町長になって7年も経つのに、若い頃からの理想が、なかなか実現されず、だんだん焦ってくる。

先日、近所の農家を訪れたら若い夫婦が朝露の中カボチャの花の交配をしていた。早出し用のカボチャがこれ以上の黄色はないほど綺麗な黄色い花を沢山つけていたが、まだ時季が早くて蜂が来ない為の手作業なのである。

夫の側で働いている若い奥さんの姿に“妻もサラリーマン並みの所得を”と主張していた自分の遠い日を思い起こさせられた。

そして、この“働き蜂”のような労働を一体どれだけの消費者が評価してくれるだろうか？と考えた。今、当別町で作っている葉物野菜は、札幌市民の年間消費量の0.2%くらいに過ぎないから、市内の一戸当たり当別産はおよそ1年間に1日しか食卓に上がらない計算になる。

「食と環境」が地球規模で問題になってきた。CO<sub>2</sub>やエネルギーの事を考えると当別は米や麦ばかりでなく、もっと野菜を作った方が良いと思う。札幌市に隣接する農村としてせめて1年間に10日や20日分生産し販売する責任があるような気がする。

訪問したどの町も特産品があって「当別町では何を作ってるの？」と尋ねられ、特産品づくりも“まち”づくりだと実感した。

当別町長 泉亭 俊孝